

【ソフトウェア使用許諾書】

下記の条項は株式会社アーク情報システム（以下「ARK」といいます）が、「HD 革命 /CopyDrive Ver.2.5 Lite for Vista」（コンピュータ・ソフトウェア、マニュアル、その他関連資料を含み、以下「本ソフトウェア」といいます）に適用いたします。

1. 使用許諾

- ①お客様は本ソフトウェアを、1 台のコンピュータに限り使用できます。
- ②お客様は、本ソフトウェアのバックアップを目的に、ただ一つの複製を作成することができます。

2. 使用許諾期間

- ①本契約は、お客様が本契約の内容に同意して、本ソフトウェアの使用を開始したときより発効し、お客様が本ソフトウェアの使用を止められたとき、または本ソフトウェアのアップグレード品の契約が結ばれるまでを有効とします。
ただし、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、ARK は本契約を一方的に終了させていただきますことがあります。

3. アフターサービス

- ①ARK は、本ソフトウェアにお客様が目的を遂げることができないような重大な欠陥（破損など）があった場合、購入後 90 日以内は無料で交換いたします。ただし、この場合に、お客様は本ソフトウェアを購入された日を証明できる書類の写しを添付しなければなりません。それ以降は実費をご負担いただきます。

4. 保証の内容

- ①ARK は、本ソフトウェアの仕様およびサービスの内容を予告なしに変更することがあります。
- ②本ソフトウェアの品質および性能に関して発生する問題は、お客様の費用負担をもって処理するものとします。
- ③ARK はいかなる場合にも、お客様が本ソフトウェアを使用した結果に関して一切の責任を負うものではありません。
- ④ARK が上記以外の損失について責任を負う場合においても、ARK の責任は、本ソフトウェアの標準価格の金額を超えないものとします。

5. 禁止事項

- ①本ソフトウェアを逆コンパイルまたは逆アセンブルまたは、その他の方法でソースコードを解析すること。
- ②本ソフトウェアを譲渡、転貸、再販売すること。
- ③ARK への文書による事前の承諾なしに、本ソフトウェアの二次著作物を創作、譲渡、販売、転貸すること。
- ④ARK への事前の承諾なしに、本ソフトウェアを引用し書籍を刊行すること。
- ⑤ネットワークにおいて、本ソフトウェアを私的使用を超える範囲で利用すること。

6. その他

- ①お客様が本契約に違反した場合、本契約は解除されます。
- ②上記の場合、本ソフトウェアの代金は返還いたしません。
- ③お客様およびARK は、本契約に関連して発生した紛争については、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所とすることに合意します。

著作権

- ・HD 革命 /CopyDrive Ver.2.5 Lite for Vista の著作権は株式会社アーク情報システムが有しています。
- ・HD 革命は株式会社アーク情報システムの登録商標です。

目 次

第1章 動作環境・インストール

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の機能概要	1-2
動作環境	1-3
Window Vista でご利用になる時の注意	1-4
・ OS をアップグレード (Windows XP/2000 → Vista) するとき	1-4
・ Windows Vista で使用する際の制限	1-4
・ ユーザーアカウント制御について	1-4
統合インストーラの起動	1-5
インストール	1-6
・ Windows Vista をお使いのとき	1-6
・ Windows XP または Windows2000 をお使いのとき	1-8
アンインストール	1-10
・ Windows Vista をお使いのとき	1-10
・ Windows XP または Windows2000 をお使いのとき	1-11
Ark ランチャー	1-12

第2章 ドライブコピーを始める前に

ドライブコピー実行前の確認事項	2-2
ドライブコピー実行時の注意・制限事項	2-4
・ コピーできないケース	2-4
・ コピー実行時の制限および注意事項	2-5
・ コピーするハードディスクについて	2-5
・ チェックディスクおよびエラーメッセージについて	2-6

第3章 ドライブコピーの手順

ドライブコピーの実行	3-2
------------	-----

第4章 HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の使用例

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の使用例①	4-2
HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の使用例②	4-8

第5章 便利ツール

ドライブ情報の取得	5-2
-----------	-----

付録

用語の解説	付 -2
アーク情報システム お客様情報保護方針	付 -6
本マニュアルおよび追加情報について	付 -8
ユーザーサポートをご利用の方へ	付 -9
ユーザーサポート内容について	付 -10
ユーザーサポート申込書	



第 1 章

動作環境・インストール

この章では、
HD 革命 / CopyDrive 2.5 Lite の
動作環境とインストール方法
について説明しています。

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の機能概要

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite は、現在お使いのコンピュータのハードディスクに保存されているデータを、ファイルシステム、パーティション、フォルダの構造などを保ったまま別のハードディスクにコピー（以下、本書では「ドライブコピー」といいます）するためのソフトウェアです。

*

*

Windows がインストールされているハードディスクを、Windows ごと移行することができるので、Windows の起動ドライブがあるハードディスクを新しいハードディスクにコピーして古いハードディスクと入れ替えると、入れ替え前と同じコンピュータ利用環境を新しいハードディスクにつくることができます。

*

*

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite でコピーする場合は、ケースの取り外し、ハードディスクの設定、取り付け・取り外し、ケーブルの接続、BIOS の設定などの作業が必要になることがあります。ハードディスクの設定や交換の方法については、十分にコンピュータのマニュアルなどで確認してから行うようにしてください。

※本書では本製品「HD 革命 /CopyDrive Ver.2.5 Lite for Vista」を「HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite」と記述しています。

動作環境

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を利用するために必要なコンピュータハードウェアとソフトウェアは次のとおりです。

①オペレーティングシステム：次のうちのいずれか

日本語版 Microsoft® Windows® Vista Home Basic

日本語版 Microsoft® Windows® Vista Home Premium

日本語版 Microsoft® Windows® Vista Business

日本語版 Microsoft® Windows® Vista Ultimate

日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2 以上

日本語版 Microsoft® Windows® XP Professional SP2 以上

日本語版 Microsoft® Windows® 2000 Professional SP4 以上

※ 64 ビット版には対応していません。

※本書では上記オペレーティングシステムをそれぞれ Windows Vista、Windows XP、Windows2000 と記述し、区別しない場合はまとめて Windows と記述します。

※ HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite をお使いになるには、アドミニストレータ権限（管理者権限）が必要です。

②コンピュータ：上記のオペレーティングシステムが動作可能なコンピュータ（PC/AT 互換機のみ）

③ディスク装置：CD または DVD ドライブ（HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite のインストールのため）

④メモリ：Windows Vista の場合 512MB 以上（1 GB 以上推奨）
Windows XP/2000 の場合 128MB 以上（256MB 以上推奨）

⑤ハードディスク：HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite のインストール用として 50MB 以上の空き容量。

※コピー先ハードディスクはコピー元ハードディスクの容量より大きいハードディスクが必要。

※リムーバブルドライブとして認識されているハードディスクにはコピーを行うことはできません。

Windows Vista でご利用になるときの注意

OS をアップグレード（Windows XP/2000 → Vista）するとき

本製品には Windows Vista 版と Windows XP/2000 版のそれぞれ異なるプログラムが同梱されており、インストール時に OS を自動的に判定して対応したプログラムがインストールされます。そのため、Windows XP/2000 に HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite をインストールして使用している環境から Windows Vista にアップグレードを行うと、HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite は使用できなくなります。

Windows XP/2000 から Windows Vista への OS のアップグレードを行う場合は、その前に必ず HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite をアンインストールしてください。その上で、OS のアップグレードインストール完了後に再度 HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite のインストールを行ってください。

Windows Vista で使用する際の制限

Windows Vista では OS の制限により、Windows XP/2000 で実行可能な一部の機能が使用できません。記載されている機能の中には、Windows XP/2000 でしかサポートされていないものがあります。ご利用方法によっては、記載以外の制限が発生する場合もございますのでご了承ください。

ユーザーアカウント制御について

Windows Vista では、プログラムを実行するかどうかの「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

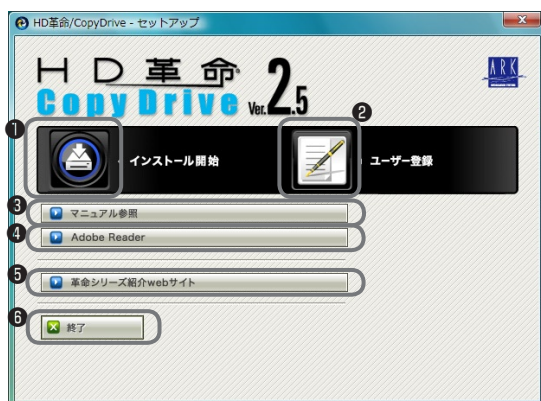
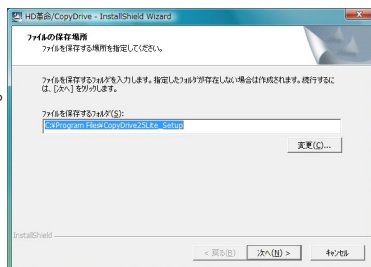
HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の各プログラムを起動するときに「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「許可」を選択して起動してください。

統合インストーラの起動

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite のセットアップファイルを実行すると、インストールに必要なファイルの保存場所を指定する画面が表示されます。

ファイルを保存するフォルダを指定して「次へ」をクリックすると統合インストーラ画面が起動し、下の画面が開きます。

ここから、HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite のインストール、ユーザー登録などを行います。



- ① **インストール開始**
HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite のインストールが始まります。
- ② **ユーザー登録**
自動的にブラウザが起動して、web サイトのユーザー登録ページに接続します。
ユーザー登録を行う場合にご利用ください。
- ③ **マニュアル参照**
本製品のマニュアル（PDF ファイル）を参照することができます。
- ④ **Adobe Reader**
Adobe Reader のインストールが始まります（本製品のマニュアルを参照するためには Adobe Reader がインストールされている必要があります）。
- ⑤ **「革命シリーズ」紹介 web サイト**
自動的にブラウザが起動して、「革命シリーズ」紹介 web サイトに接続します。
- ⑥ **終了**
統合インストーラが終了します。

インストール

Windows Vista をお使いのとき

統合インストーラの「インストール開始」を選択すると、HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite のインストールが始まります。画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

HD 革命/CopyDrive セットアップ ウィザードへようこそ

インストールは HD 革命/CopyDrive をコンピュータ上にインストールするために必要な手順を示します。

この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製品の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害となりますのでご注意ください。

←インストールが始まります。

使用許諾契約書

使用許諾契約書をお読みください。以下の条件に同意される場合は[同意する]をクリックしてから[次へ]をクリックしてください。その他の場合は[キャンセル]をクリックしてください。

②上記の場合、本ソフトウェアの代金は返還いたしません。
③お客様およびARKは、本契約に関連して発生した紛争については、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所とすることに合意します。

著作権

- ・HD 革命 /CopyDrive の著作権は株式会社 アーク情報システムが有しています。
- ・HD 革命は、株式会社 アーク情報システムの登録商標です。

☒ 同意しない ☒ 同意する

←使用許諾契約書をお読みください。契約に同意いただくとインストールを進めることができます。

ユーザー情報

次のボックスに名前および会社名または組織名を入力してください。インストーラはこの情報を今後のインストールに使用します。

名前(A):
[ark]

所属(O):
[アーク情報システム]

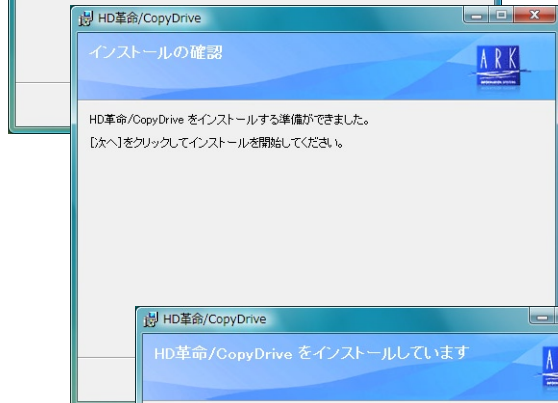
シリアル番号を入力してください。インストーラはこの情報を今後のインストールに使用します。

シリアル番号(S):
[]-[]-[]

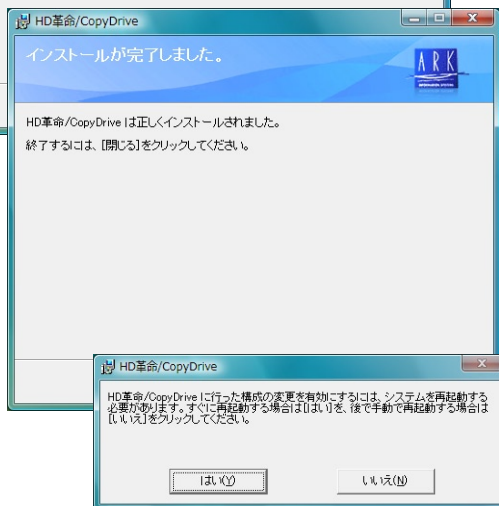
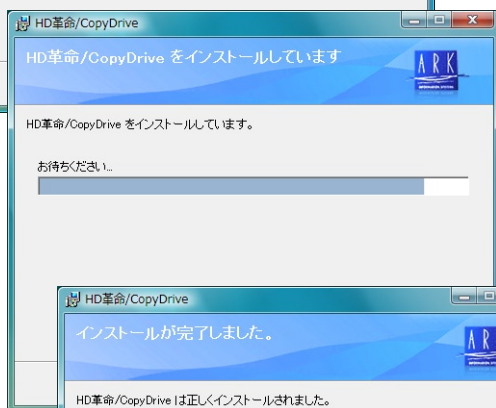
←シリアル番号を半角英数字で入力します。アルファベットは大文字で入力してください（シリアル番号のアルファベットには、I（アイ）、O（オー）、V（ヴィ）、Z（ゼット）はありません）。



←インストール先を変更することができます。「ディスク領域」をクリックすると、各ドライブのディスク容量・インストールに必要な容量を確認することができます。



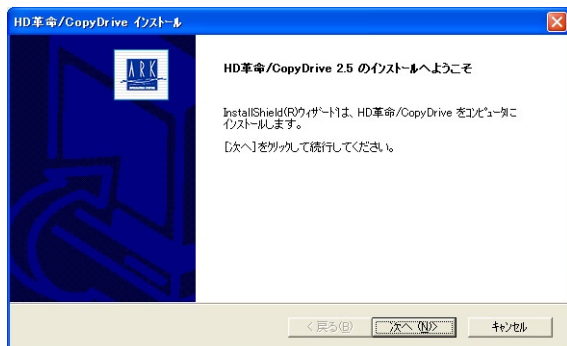
←インストールが始まります。



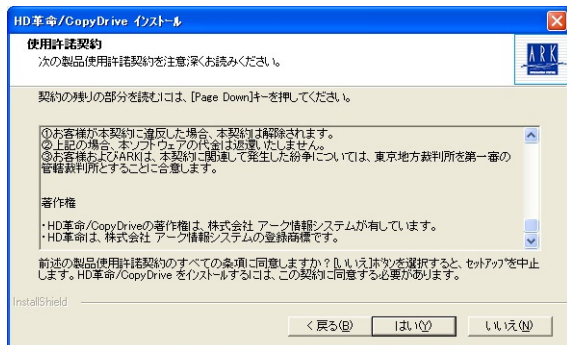
←システムの再起動後、HD革命/CopyDrive 2.5 Liteを使用することができます。

Windows XP または Windows2000 をお使いのとき

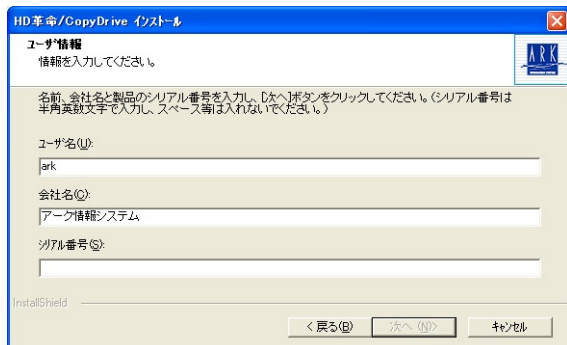
統合インストーラの「インストール開始」を選択すると、HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite のインストールが始まります。画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。



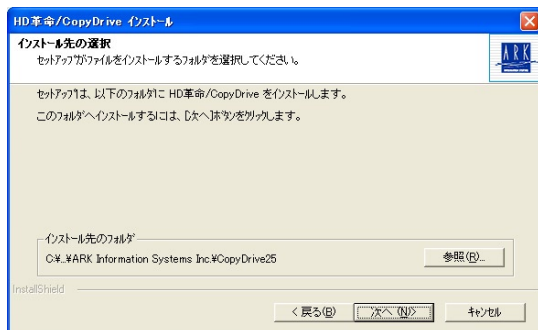
←インストールが始まります。



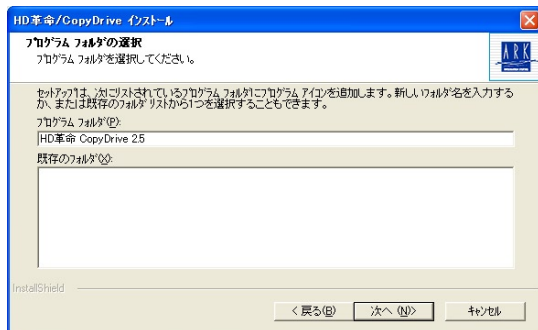
←使用許諾契約書をお読みください。
契約に同意いただくとインストールを進めることができます。



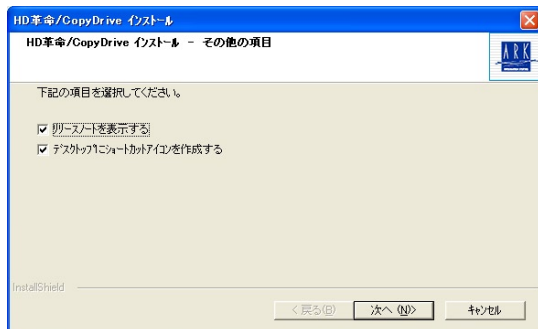
←シリアル番号を入力します。
アルファベットは大文字で入力してください（シリアル番号のアルファベットには、I（アイ）、O（オー）、V（ヴィ）、Z（ゼット）はありません）。



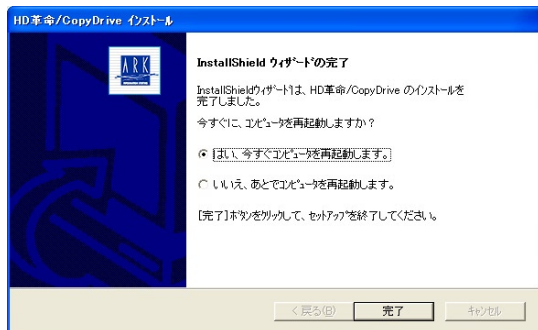
←インストール先を変更することができます。



←スタートメニューに表示されるプログラムフォルダを変更することができます。通常は変更しないようにしてください。



←「デスクトップにショートカットアイコンを作成する」にチェックすると、HD 革命/CopyDrive 2.5 Lite のアイコンが作成されます。

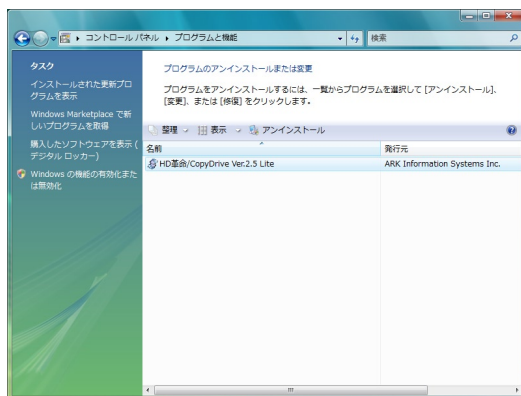


←コンピュータの再起動後、HD 革命/CopyDrive 2.5 Lite の利用が可能になります。

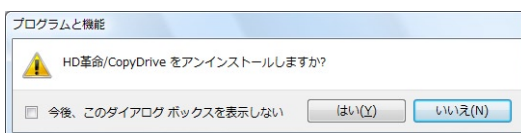
アンインストール

Windows Vista をお使いのとき

Windows の「スタート」ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」と選択します。プログラム名が表示された画面で「HD 革命 /CopyDrive Ver.2.5 Lite」を選択して「アンインストール」をクリックします。



表示された画面で「はい」を選択するとアンインストールが始まります。



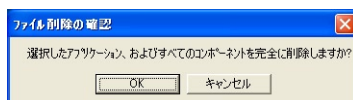
アンインストール後は Windows の再起動を行ってください。

WindowsXP または Windows2000 をお使いのとき

Windows の [スタート] ボタン → 「コントロールパネル」 → 「プログラムの追加と削除」 (「アプリケーションの追加と削除」) と選択し、表示された画面で「HD 革命 /CopyDrive Ver.2.5 Lite」を選択して「変更と削除」ボタンをクリックします。



表示された画面で「OK」を選択するとアンインストールが始まります。



アンインストール後は Windows の再起動を行ってください。

Ark ランチャー

Windows のスタートメニューから「すべてのプログラム」→「HD 革命 CopyDrive 2.5 Lite」→「Ark ランチャー」と選択すると Ark ランチャーを開くことができます。

Ark ランチャーから HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の各機能を利用することができます。

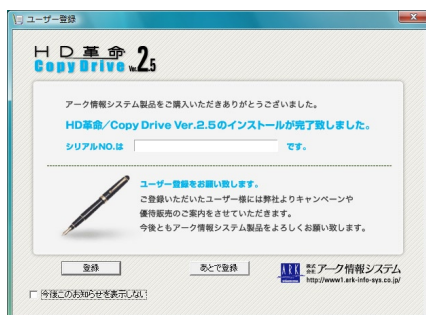
弊社革命シリーズ中の他の製品がインストールされている場合は、「ランチャー」メニューから製品を変更することができます。



Ark ランチャー（Windows XP/2000 にはありません）

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite をインストール後、最初に起動したときにオンラインユーザー登録画面が表示されます。お客様のコンピュータがインターネットに接続されている場合には、「登録」ボタンをクリックすると弊社の web サイトのユーザー登録ページが開き、ユーザー登録が可能になります。

「今後このお知らせを表示しない」にチェックを入れない場合、以後 HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を起動するたびにこの画面が表示されます。





第2章

ドライブコピーを始める前に

この章では、
HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite によって
システムドライブのコピーを始める前に
お読みいただきたい
注意事項や制限事項について
説明しています。

ドライブコピー実行前の確認事項

●ハードディスクのコピーを実行できるユーザー

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を起動できるユーザーは「管理者権限」をもったユーザーに限られます。制限つきユーザー権限では実行できません。

●安全にハードディスクのコピーを行うために

コピー元、コピー先ハードディスクを間違えないように、あらかじめコピーをしないハードディスクは接続を外すか、電源を切るようにしてください。

また、HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を起動してからコピーが終了するまでは、コピー元・コピー先ハードディスクを含め、周辺機器（特に外付けのハードディスク、MO、DVD-RAM、フラッシュメモリなど）の取り付け・取り外しは行わないでください。

●コピー先ハードディスクのバックアップ / 消去

コピー先として選択したハードディスクの内容はすべて消去され、元の状態に戻すことはできません。必要なデータはあらかじめ CD/DVD-R や MO、DVD-RAM などにバックアップをとってください。

また、コピー先ハードディスクに存在するドライブは、「ディスクの管理」などであらかじめパーティションの削除をしておくとし HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite でコピーするときに再起動の必要がなくなります。

●使用できるハードディスクについて

コピー元、コピー先のハードディスクとして、IDE、SCSI、USB1.1/2.0、IEEE1394（FireWire）、シリアル ATA（SATA）で接続されたハードディスクを使用することができます。

また、RAID 環境（RAID0、RAID1）のハードディスクも使用することができます。

※ Windows が正常に起動している状態で、これらのハードディスクが正しく認識されている（ドライバが正しくインストールされている）必要があります。

※ ネットワーク上のハードディスクへコピーを行うことはできません。

※ リムーバブルドライブとして認識されているハードディスクにはコピーを行うことはできません。

※ ダイナミックディスク（ソフトウェア RAID）の環境で使用することはできません。コピー先ハードディスクがダイナミックディスクになっている場合は、ベーシックディスクにしてください。

●対応ファイルシステムについて

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite でコピー可能なファイルシステムは FAT16、FAT32、NTFS、Linux（Ext2、Ext3）をはじめ、各種 OS で使用されるファイルシステムで、隠しパーティションもコピーすることができますが、次のような制限事項があります。

- ① Windows 以外の OS のファイルシステムに関しては、データの有無にかかわらずドライブ内の全セクタをコピーします。
- ② HPA (Hidden Protected Area) のリカバリー領域をコピーすることはできません。
- ③ ダイナミックディスクには対応していません。
- ④ Linux の環境をコピーした場合、コピー先ハードディスクから起動するために Linux の再設定が必要になる場合があります。
- ⑤ Windows Vista/XP/2000 の「ディスクの管理」画面で認識されていない領域をコピーすることはできません。

●ブートセクタについて

コピー元よりも容量の小さいハードディスクにコピーする場合、マイクロソフト標準でないブートセクタ (LILO、GRUB、サードパーティ製のブートセクタなど) を使用していると、正しくコピーできない場合があります。

●リムーバブルドライブについて

MO ドライブや USB メモリ、カードリーダーなどのリムーバブルドライブが接続されている場合、コピー終了までは取り外さないようにしてください。安全のため、あらかじめ接続を外すか、または電源を切っておくことをおすすめします。

●コンピュータウイルスの検査

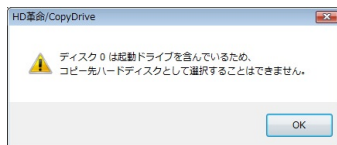
コピー元のハードディスクがコンピュータウイルスに感染していた場合、コンピュータウイルス自体もそのままコピーされてしまいます。コンピュータウイルスの感染が疑われる場合は、コピーを開始する前に、市販のウイルス駆除ソフトウェアで検査を行うようにしてください。

ドライブコピー実行時の注意・制限事項

コピーできないケース

●起動ドライブを含むハードディスクへのコピー不可

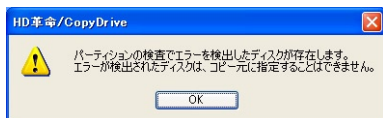
HD 革命 / CopyDrive 2.5 Lite では、Windows がインストールされ起動中のシステムドライブ（起動ドライブ）を含んだハードディスクへコピーすることはできません。コピー先として選択した場合は、次のメッセージが表示されます。



例えば、内蔵ハードディスクの内容を外付けハードディスクにコピーして、その外付けハードディスクから内蔵ハードディスクへコピーを行おうとした場合にこのメッセージが表示されます。

●パーティションにエラーがあるハードディスクについて（Windows XP/2000）

ハードディスクのパーティションにエラー（パーティションテーブルの値が不正、パーティションのブートセクタが破損など）が発生している場合、HD 革命 / CopyDrive 2.5 Lite を起動した時に次のエラーメッセージが表示されます。



ここで「OK」をクリックしてハードディスクの選択画面を表示させると、エラーが発生しているハードディスクには「エラー検出：Code. XX」（XX には数字が入ります）と表示されます。



このようにエラーが検出されたハードディスクはコピーすることができません。

2-8 ページにエラーコードとその詳細を示しますが、エラーの原因や修復方法は弊社ではお答えできませんので、お使いの PC メーカーやハードディスクメーカーなどにお問い合わせください。

コピー実行時の制限および注意事項

●コピー実行時における制限事項

- ①コピー元ハードディスクよりも容量が小さいハードディスクへコピーすること（縮小コピー）はできません。
- ②コピー終了後、再起動する際のコピー元ハードディスクの接続について。
 - ・ Windows XP/2000 の場合…コピー先ハードディスクのみを接続して再起動してください。コピー先ハードディスクから起動するとコピー処理が完了します。
 - ・ Windows Vista の場合…コピー元・コピー先の両ハードディスクを接続したまま、コピー元ハードディスクから起動しないとコピー処理が完了しません。このコピー処理が完了するまでは、コピー先ハードディスクが見えない状態になります。

●起動時に Windows ロゴを表示しない（GUI ブートをしない）ようにしている場合の注意事項

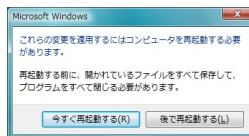
Windows の「システム構成ユーティリティ」で、「GUI ブートなし」（Vista）、「/NOGUIBOOT」（XP）のオプションを有効にしている環境では、コピーの実行時に進行状況が表示されません。ハードディスクのアクセスランプが点滅している間は処理が行われているので、電源を切ったりリセットをしたりしないでください。

安全のため、HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の操作を行う前に、このオプションを無効にするようにしてください。

コピーするハードディスクについて

●コピー後の新しいデバイス認識について

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite でコピーした後に Windows を起動すると、次のメッセージが表示されることがあります。

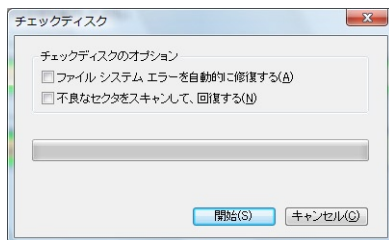


このメッセージが表示された場合には、「**今すぐ再起動する**」をクリックしてコンピュータを再起動してください。

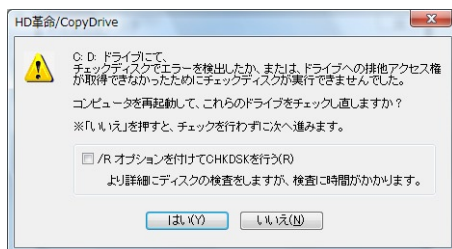
チェックディスクおよびエラーメッセージについて

●コピー前のチェックディスク

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite では、コピーを行う前にチェックディスクを行います。このチェックディスクは、Windows 付属の機能を呼び出しています。「開始」をクリックするとチェックディスクが行われます。



「チェックディスクのオプション」を選択した場合や、エラーを検出した場合は、次のメッセージが表示されます。



ここで「はい」をクリックすると、コンピュータが再起動してチェックディスクが行われます。再起動してチェックディスクを行う場合はチェックディスク終了まで時間がかかりますので、実行する場合は注意してください。チェックディスクが終了しWindows が起動した後は、もう一度 HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を実行し、はじめから操作を行ってください。

「チェックディスク」ではディスク監視ソフトやアンチウィルスソフトが動作していると、影響を受けてエラーとなることがあります。何度繰り返してもエラーとなるような場合は、このようなソフトウェアの常駐を停止させるか、アンインストールを行ってみてください。

●アクセス許可がないドライブのチェックディスク

コピーを実行するユーザーがアクセス許可のないドライブをコピーする場合、アクセスが拒否されてしまうため、コピー前のチェックディスクでエラーとなります。アクセス許可がないドライブをコピーする場合は、エラーが発生しても再起動して

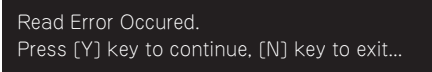
チェックを行わずにそのままコピーしてください。

●コピー後のチェックディスク

HD 革命 / CopyDrive 2.5 Lite でコピーした後に Windows を起動すると、起動途中でチェックディスクが実行される場合があります。チェックディスクはキャンセルせずに、そのまま最後まで実行させてください。コピー結果には支障ありません。

●コピーの途中でエラーメッセージが表示された場合の対処方法

コピーの途中で、コピー元またはコピー先のハードディスクに読み込みエラー、書き込みエラーが発生した場合、次のメッセージが表示されます。書き込みエラーの場合は、「Read Error」の部分が「Write Error」になります。



Read Error Occured.
Press [Y] key to continue, [N] key to exit...

エラーを無視してコピーを続行する場合は、キーボードの「Y」キーを押してください。この場合、エラーが発生した個所のデータはコピーされません（コピー先ハードディスクのデータは保証されません）。コピーをキャンセルする場合は「N」キーを押してください。

＜参考：エラーコード一覧＞

エラーコード	エラーの詳細
Code.1	ディスク内にある一番最後のドライブ（空き領域も含む）の終了トラック番号が、ディスクの全トラック数と一致しない。
Code.2	ドライブの開始ヘッド番号が、1より大きい。ドライブの終了ヘッド番号が、ディスクのヘッド数と一致していない。
	ドライブの開始ヘッド番号／終了ヘッド番号が、セクタ番号（LBA）から計算したヘッド番号と一致しない。
Code.3	ドライブの開始トラック番号が、終了トラック番号よりも大きい。
	ドライブの終了トラック番号が、ディスクの全トラック数よりも大きい。
	ドライブの開始トラック番号／終了トラック番号が、セクタ番号（LBA）から計算したトラック番号と一致しない。
Code.4	ドライブの開始セクタ番号（CHS）が、1より大きい。
	ドライブの終了セクタ番号（CHS）が、ディスクのセクタ数（CHS）と一致しない。
	ドライブの開始セクタ番号（CHS）／終了セクタ番号（CHS）が、セクタ番号（LBA）から計算したセクタ番号（CHS）と一致しない。
Code.5	隣接するドライブの最後と最初の位置がオーバーラップしている。
Code.6	論理ドライブに、アクティブフラグのマークが書かれている。
Code.7	パーティションテーブルのアクティブフラグを示す位置に、アクティブフラグ（0x80）以外のマークが書かれている。
Code.8	パーティションテーブル上に、拡張領域（0x05、0x0F）のマークが2つ以上存在する。
Code.9	基本ドライブとして認識されるドライブが5個以上存在する。
Code.13	内部エラー（ディスク番号が不明である）。
Code.14	ディスク0が存在しない。ディスク番号が連続していない（間が抜けている）。
Code.15	内部エラー（ドライブの種類が不明）
Code.16	パーティションテーブルに書かれているドライブのセクタ数と、ドライブの Bitmap を解析して得られたドライブのセクタ数が一致しない。
	ドライブの全容量が、「ドライブの使用済み容量+ドライブの空き容量」と一致しない。
Code.17	パーティションテーブルに書かれているファイルシステムの種類と、各ドライブの BPB（BIOS Parameter Block）に書かれているファイルシステムの種類が一致しない。
Code.18	256MB 以下の FAT32 ドライブが存在している。
Code.19	内部エラー（ドライブが、基本ドライブなのか論理ドライブなのか不明）
Code.20	基本ドライブの開始トラック番号／終了トラック番号が、拡張領域の開始トラック番号／終了トラック番号よりも内側になっている。
Code.21	論理ドライブの開始トラック番号／終了トラック番号が、拡張領域の開始トラック番号／終了トラック番号よりも外側に出ている。
Code.22	パーティションテーブルに書かれているドライブのセクタ数と、各ドライブの BPB（BIOS Parameter Block）に書かれているセクタ数が一致しない。
	パーティションテーブルに書かれているドライブのセクタ数と、CHS から計算したドライブのセクタ数が一致しない。

第3章

ドライブコピーの手順

この章では、
HD 革命 / CopyDrive 2.5 Lite を使用して
ハードディスクの内容を
システムドライブも含め、
別のハードディスクに
コピーする方法について
説明しています。

ドライブコピーの実行

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite は 1 台のハードディスク全体を (C:、D:、…などにドライブが分割されている場合はその分割状態も含めて) 別のハードディスクにコピー (ドライブコピー) するソフトウェアです。ドライブコピーを開始するには、Windows が起動するハードディスクとは別のハードディスクを接続しておく必要があります。

ドライブコピーを行う目的に応じ、第 2 章「ドライブコピーを始める前に」や第 4 章「HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の使用例」をお読みになることをおすすめします。

- 1 コピー先となるハードディスクが Windows で正しく認識されていることを確認し、Ark ランチャー (またはスタートメニュー) から HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を起動するとメイン画面が開きます。



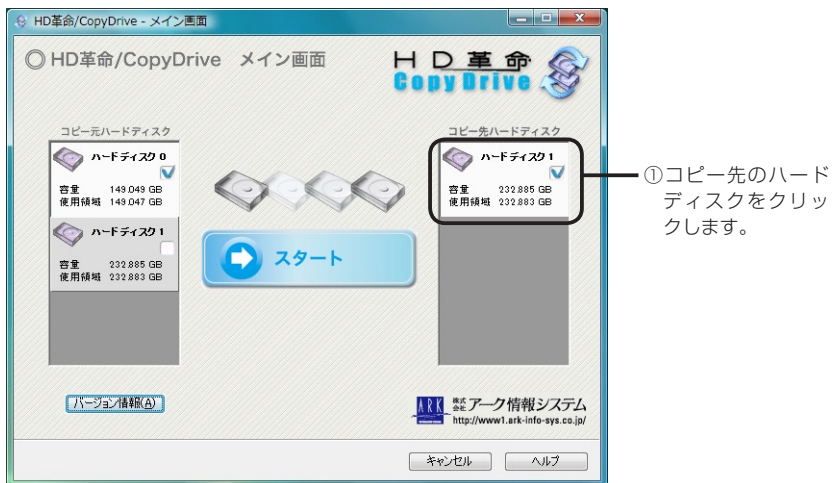
- 1 **コピー元ハードディスク**
現在接続されているハードディスクが表示されます。表示の中からコピー元ハードディスクを選択します。
- 2 **コピー先ハードディスク**
ここでコピー先ハードディスクを選択します。
HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を起動した直後は表示がありませんが、コピー元ハードディスクを選択するとその他のハードディスクが表示され、選択が可能になります。
- 3 **スタート**
ドライブコピーを行う次の画面に進みます。

コピー元、コピー先ハードディスクを間違えないように、あらかじめコピーをしないハードディスクは接続を外すか電源を切るようにしてください。

- 2** コピー元となるハードディスクをクリックして選択します。選択したハードディスクにはチェックが入り、残りのハードディスクが「コピー先ハードディスク」に表示されます。



- 3** コピー先のハードディスクをクリックして選択します。選択したハードディスクにチェックが入ります。



4 「スタート」をクリックします。



コピー先のハードディスクが空でない場合は、次のメッセージが表示されます(空の場合は表示されません)。コピー先のハードディスクの内容をすべて消去する場合は「はい」を、メイン画面に戻る場合は「いいえ」をクリックしてください。

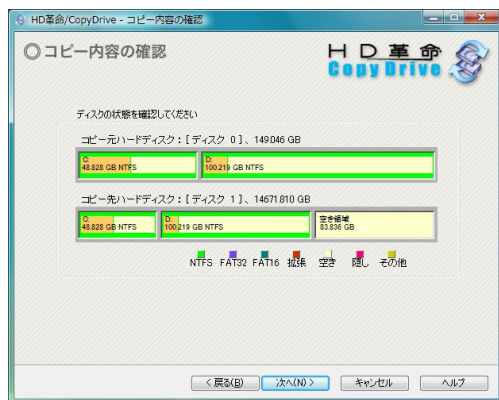


※「はい」をクリックするとハードディスクの内容がすべて消去され、Windows が再起動します。ただし、コピー先ハードディスクが小さい場合は再起動せずに次の画面に進みます。コピー先ハードディスクのデータを元に戻すことはできませんので、必要なデータが残っていないか、選択したハードディスクに間違いがないかどうかを確認してから「はい」をクリックするようにしてください。

コピー先ハードディスクが消去されると次の画面が表示されます。「OK」をクリックし、再起動後にもう一度 HD 革命 / CopyDrive 2.5 Lite を起動して、コピー元、コピー先のハードディスクを選択してください。



5 コピー元およびコピー先のハードディスクの状態（使用容量、空き容量、ファイルシステムの種類など）が表示されます。



リカバリー用のデータが保存された隠しパーティションがある場合は、次のような画面になり、隠しパーティションのコピー方法を選択することができます。ただし、容量の小さなハードディスクにコピーする場合は、隠しパーティションのコピー方法を選択することはできません。



① 隠しパーティションをそのままコピーする（推奨）

隠しパーティションの位置を変更せずにそのままコピーします。この場合は、元のパーティション構成が保たれます。隠しパーティションの後ろからディスクの最後までが「空き領域」となります。

隠しパーティションをディスクの最後にコピーする

隠しパーティションをハードディスクの領域の最後へコピーします。この場合、隠しパーティションとその手前にあるパーティションの間が「空き領域」となります。この方法を選択してコピーした場合は、メーカー製コンピュータではリカバリーができなくなることがあります。

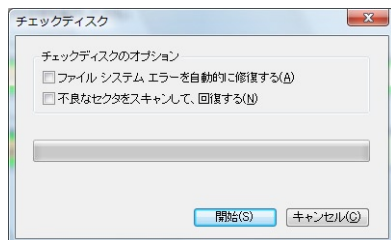
各ハードディスクの状態を確認して、「次へ」をクリックします。

6 コピー元ハードディスクのチェックを行うため「チェックディスク」画面が表示されます。

チェックディスクを行う場合は「**開始**」をクリックしてください。

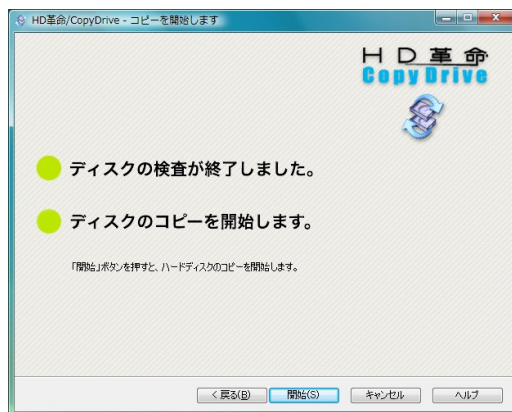
チェックディスクを行わない場合は「**キャンセル**」をクリックして次に進みます。

チェックディスクの動作については「ドライブコピー実行時の注意・制限事項」(第2章)を参照してください。

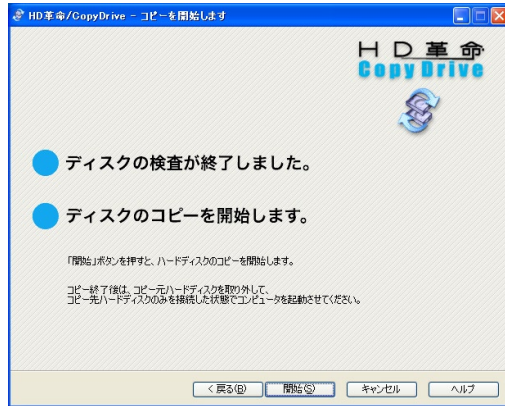


7 (Windows Vista の場合) チェックディスク終了後、コピー開始の画面が表示されます。

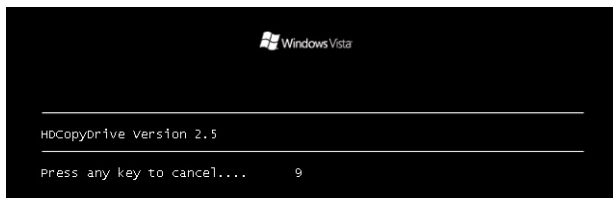
「**開始**」をクリックすると、コンピュータが再起動してからコピーが始まります。



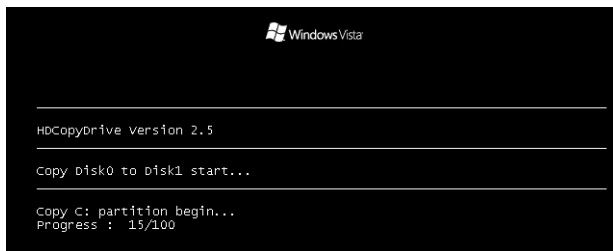
- 7 (Windows XP/2000 の場合) チェックディスク終了後、コピー開始の画面が表示されます。
- 「開始」をクリックするとコンピュータが再起動してからコピーが始まります。



- 8 Windows が再起動した後、次の画面が表示されます。
- カウントダウンの間に何かキーを押すと、ドライブのコピーが中止して Windows が再起動します。



コピー中は進行状況が表示されます。この間、キャンセルすることはできません。

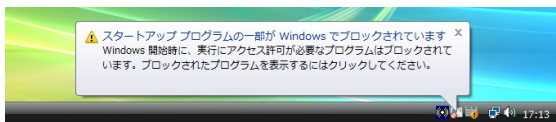


なお、コンピュータ環境（CPU、ハードディスクの容量、速度など）によってはコピーに数時間～数十時間かかることがあります。

- 9 (Windows Vista の場合) コピーが終了すると次のメッセージが表示されます。何かキーを押すとコンピュータが再起動しますが、コピー元、コピー先ハードディスクを両方接続したままで、コピー元ハードディスクから起動してください。

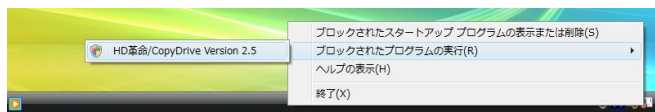
```
Copy operation finished !
Disk cache flushing..... 0
Disk copy finished!
Press any key to Reboot.
```

Windows Vista が起動すると、タスクトレイに次のようなメッセージが表示されます。ここで、プログラムを実行するためにアイコンをクリックします。



表示されたメニューで「ブロックされたプログラムの実行」→「HD 革命 / CopyDrive Version 2.5」と選択します。

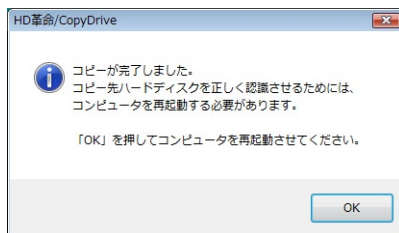
この操作を行わないとコピー先のハードディスクが見えない状態のままとなります。必ずこの操作を行うようにしてください。



処理が完了すると次のメッセージが表示されます。

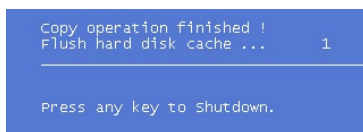
コピー先のハードディスクを正しく認識させるために「OK」をクリックして、コンピュータを再起動してください。

再起動することによってコピーが完了します。



9 (Windows XP/2000 の場合) コピーが終了すると次のメッセージが表示されます。

何かキーを押すとコンピュータの電源が切れます。

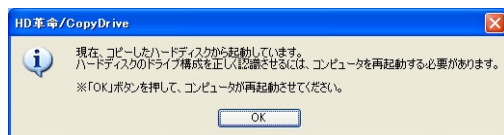


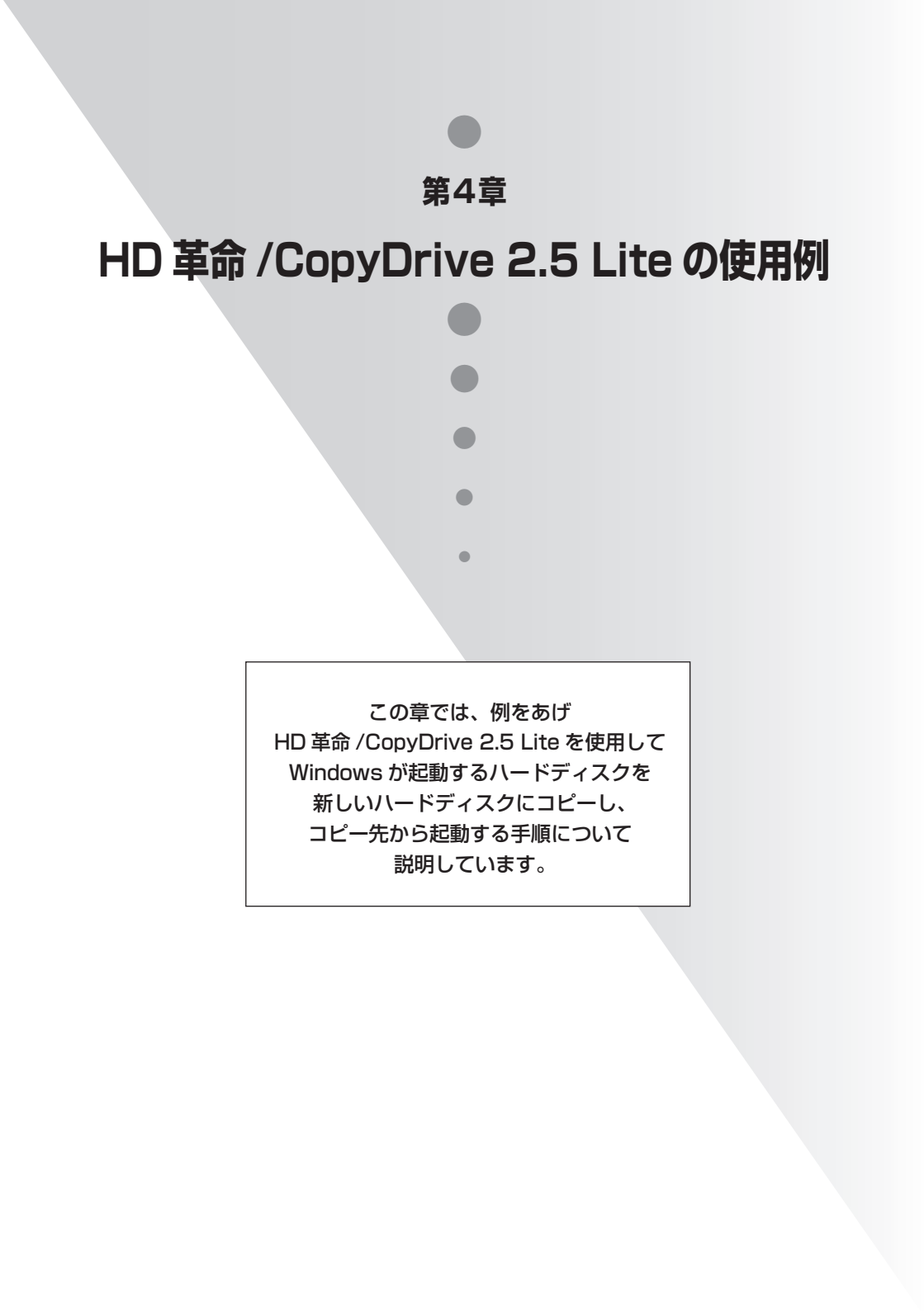
電源が切れている状態でコピー元ハードディスクを取り外し、コピー先のハードディスクのみを接続してコンピュータを起動します。

コピー先ハードディスクからコンピュータを起動すると、次のメッセージが表示されます。

「OK」をクリックして、コンピュータを再起動してください。

再起動することによってコピーが完了します。





第4章

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の使用例

この章では、例をあげ
HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を使用して
Windows が起動するハードディスクを
新しいハードディスクにコピーし、
コピー先から起動する手順について
説明しています。

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の使用例①

使用例①では、3.5 インチハードディスクを2台以上内蔵可能なデスクトップ PC で HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を使用し、Windows Vista をインストールしてあるハードディスクを入れ替えるときの操作手順の概要を示します。

【使用環境・設定を次のように仮定】

- HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite はインストール済み。
- コンピュータは、2台（以上）の内蔵 3.5 インチハードディスクを収納可能で、ケーブル、電源ケーブルも対応（付属）している。
- 現在はハードディスク1台だけ接続し、Windows Vista を使用している（プライマリマスター使用）。
- コピー先は、新しく購入した大容量のハードディスクとする（プライマリスレーブに接続）。
- コピー後は2つのハードディスクを交換し、新しいハードディスクを起動用として使用する。
- 古いハードディスクはデータ保存用として継続使用する。

【注意点】

- メーカー製のコンピュータの場合、ハードディスクの交換などを行うと、サポート対象外となることがあります。必ずコンピュータの使用許諾書、マニュアル、注意事項などを確認してください。
- ハードディスクは衝撃に弱い精密機械です。ぶつけたり落したりしないよう、取り扱いには十分注意してください。ハードディスクの設定、接続方法などはマニュアルや関連書籍などで確認するようにしてください。

【操作方法】

①新しく購入したハードディスクの設定

内蔵 3.5 インチハードディスクには「ジャンパ」と呼ばれる、接続先を設定するピンが存在します。この「ジャンパ」により、「マスター」「スレーブ」「ケーブルセレクト」のいずれかに設定できますが、この例ではプライマリスレーブに接続するので、ジャンパを「スレーブ」に設定します。

※ジャンパピンの設定方法はハードディスクのメーカーによって異なります。マニュアルなどで確認してください（多くの場合、ハードディスク本体に記述されています）。

※シリアル ATA 接続のハードディスクでは、ジャンパの設定は必要ありません。

② コンピュータのケースを開けて新しいハードディスクを接続

コンピュータの電源を切った状態で（できれば電源ケーブルを抜き）、マニュアルなどを参照してコンピュータのケースを開け、空いている 3.5 インチデバイス取り付け部に新しいハードディスクを取り付けます。

次にケーブルを接続しますが、多くの場合 1 本のケーブルに 2 台を接続できるようコネクタが 2 個ついています。使われていないほうのコネクタを新しいハードディスクに接続します。このとき、ケーブル側の突起とハードディスク側の切り欠けが合うように向きを確認してください。

電源ケーブルも、ケーブル側とハードディスク側の形状が合うよう向きを確認して接続します。

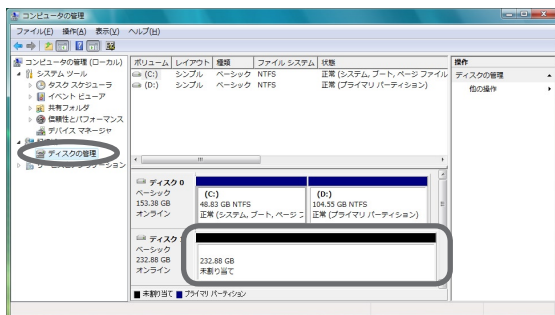
※ケースの形状によっては、ハードディスクを 2 台接続すると、ケーブルが届かないなどの問題が発生することがあります。故障の原因になりますので、無理にケーブルを引っ張ったり、ハードディスクを押し込んだりしないようにしてください。

※ケーブルは、一般的にはマザーボードから遠い位置にあるコネクタを「マスター」、近い位置にあるコネクタを「スレーブ」としています。この例では「マスター」と「スレーブ」のハードディスクの両方を接続することになるので、接続位置に注意してください。接続方法については、コンピュータ付属のマニュアル、関連書籍などを参考にしてください。

③ コンピュータを起動し、Windows でハードディスクを確認

電源をつなぎ、コンピュータを起動します。多くのコンピュータでは新しいハードディスクを自動的に認識します（Windows の再起動が必要になる場合があります）。

Windows が起動したら、「コンピュータ」→「コントロールパネル」→（「システムとメンテナンス」）→「管理ツール」→「コンピュータの管理」と選択し、開いた画面で「ディスクの管理」をクリックします。新しいハードディスクが Windows で認識されていると、下のように表示されます（下の画面は未フォーマットのハードディスクの例）。



ハードディスクを確認できないときは、一度電源を切り、ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

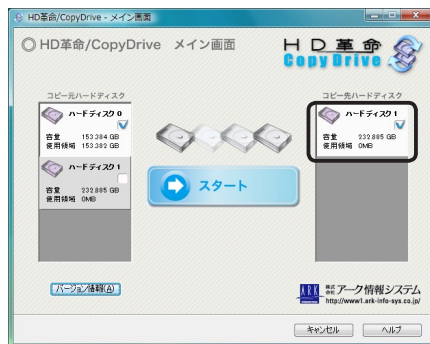
また、コンピュータの BIOS を起動して、正しく認識されているかどうかを確認してください。

※ BIOS 画面の起動方法やハードディスクの設定変更方法などは、コンピュータにより異なります。コンピュータ付属のマニュアル、関連書籍などを参考にしてください。

※新しいハードディスクの場合、「ディスクの管理」を選択したときに「ディスクの初期化と変換ウィザード」画面が表示されます。ディスクの初期化を行わないとハードディスクを使用できないので、変換ウィザードに従って初期化を行ってください。詳しくは Windows のマニュアルやヘルプを参考にしてください。

④ HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite でコピー元、コピー先を指定

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を起動し、メイン画面で「コピー元ハードディスク」として「ハードディスク 0」を選択します。「コピー先ハードディスク」として「ハードディスク 1」を選択して「スタート」をクリックします。



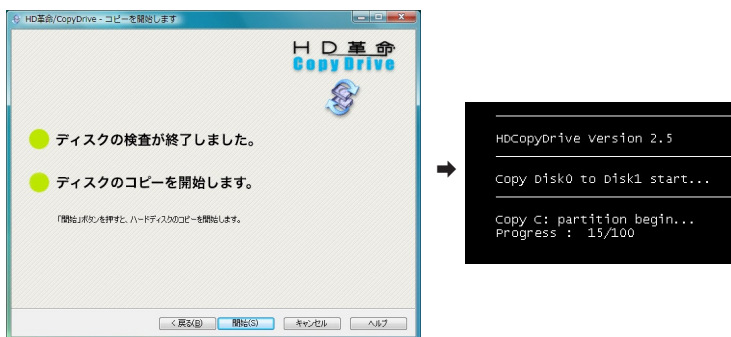
⑤ コピー内容の確認

コピー元、コピー先の内容に間違いがないことを確認し、「次へ」をクリックします。このとき、チェックディスクの画面が開くので「開始」をクリックします。



⑥ コピー開始～コピー終了

チェックディスク終了後、下(左)の画面で「開始」をクリックするとコピーが始まります。コピー中は下(右)のような画面が表示されます。コンピュータ環境(CPU、ハードディスクの容量、速度など)によってはコピーに数時間～数十時間かかることがあります。



⑦ コンピュータの再起動

コピー終了後、次のメッセージが表示されます。

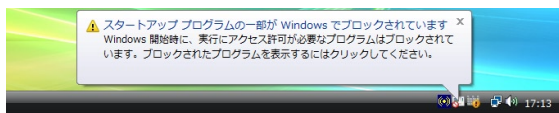
コピー先とコピー元の両方のハードディスクを接続したままで、何かキーを押してください。コンピュータが再起動します。

```
Copy operation finished !
Disk cache flushing..... 0
Disk copy finished!

Press any key to Reboot.
```

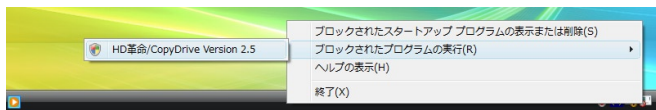
⑧ HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を起動

Windows Vista が起動すると、タスクトレイに次のメッセージが表示されます。ここで、プログラムを実行する為にアイコンをクリックします。



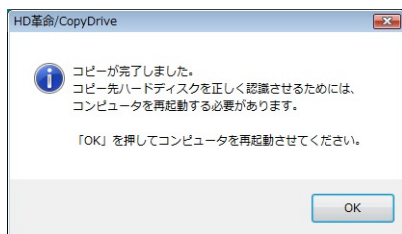
表示されたメニューで「ブロックされたプログラムの実行」→「HD 革命 /CopyDrive Version 2.5」と選択します。

この操作を行わないとコピー先のハードディスクが見えない状態のままとなります。必ずこの操作を行うようにしてください。



HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite が起動し、処理が完了すると次のメッセージが表示されます。

コピー先のハードディスクを正しく認識させるために「OK」をクリックしてください。コンピュータが再起動し、コピーが完了します。



⑨ハードディスクの取り外し

Windows を起動するハードディスクを取り替えるため、コンピュータを終了し（電源を切り）、新旧2台のハードディスクを取り外します。

⑩コピー先のハードディスクの設定変更・取り付け

「スレーブ」に設定してあった新しいハードディスクのジャンパの位置を「マスター」に変更し、ケースに取り付けてケーブルを接続します。

⑪コピー元の古いハードディスクの設定変更・取り付け

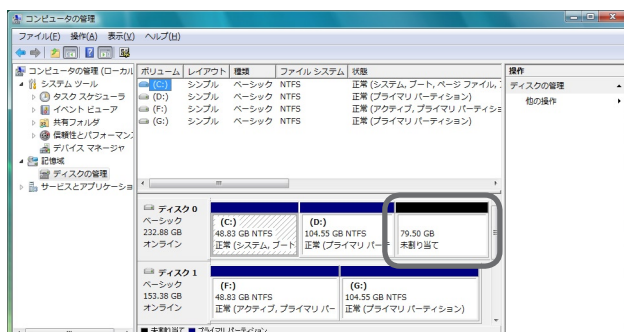
「マスター」に設定してあった古いハードディスクのジャンパの位置を「スレーブ」に変更し、ケースに取り付けます。接続位置に気をつけてケーブルを接続します。

⑫コンピュータを起動

新旧のハードディスクが正しく接続されていることを確認し、コンピュータを起動します。

⑬必要に応じてパーティションを変更

新しいドライブが古いハードディスクより容量が大きいとき、「未割り当て」の領域ができます。③と同様に「ディスクの管理」を開くと、「未割り当て」の領域があることがわかります。



未割り当ての領域は「ディスクの管理」画面で領域を作成してからフォーマットすることで、利用可能となります。また、ハードディスクのドライブ文字も、「ディスクの管理」画面から変更することができます。

HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite の使用例②

使用例②では、ノート PC の内蔵ハードディスクから外付けリムーバブルケースに入れたハードディスクにコピーし、コピー元とコピー先のハードディスクを入れ替えるときの操作手順の概要を示します。

【使用環境・設定を次のように仮定】

- HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite はインストール済み。
- ノート型 PC には 1 台だけの 2.5 インチハードディスクが搭載されている。
- コピー先として、新しく購入した容量の大きい 2.5 インチハードディスクと USB 接続の外付け用リムーバブルケースを使用。
- コピー後、新しいハードディスクに交換し、これを起動用として使用する。

【注意点】

- メーカー製のコンピュータの場合、ハードディスクの交換などを行うと、サポート対象外となることがあります。必ずコンピュータの使用許諾書、マニュアル、注意事項などを確認してください。
- ハードディスクは衝撃に弱い精密機械です。ぶつけたり落したりしないよう、取り扱いには十分注意してください。ハードディスクの設定、接続方法などはマニュアルや関連書籍などで確認するようにしてください。

【操作方法】

①新しいハードディスクをリムーバブルケースに取り付け

新しく購入した 2.5 インチハードディスクをリムーバブルケースに取り付けます。

※取り付け方法はケースによって異なります。ケース付属のマニュアルを参照しながら、慎重に操作してください。

②リムーバブルケースをコンピュータに接続

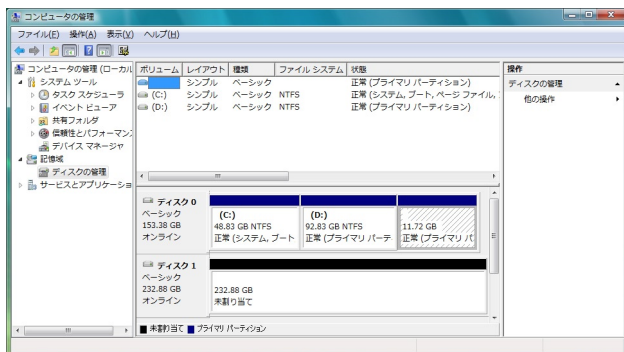
コンピュータの USB ポートに、リムーバブルケースに接続します。

③コンピュータを起動し、Windows でハードディスクを確認

コンピュータを起動します。多くのコンピュータでは自動的に新しいハードディスクを認識します（Windows の再起動が必要になる場合があります）。

Windows が起動したら、「コンピュータ」→「コントロールパネル」→（「システ

ムとメンテナンス」] → 「管理ツール」 → 「コンピュータの管理」と選択し、開いた画面で「ディスクの管理」をクリックします。新しいハードディスクが Windows で認識されていると、下のように表示されます（画面例は未フォーマットのハードディスクの例）。



ハードディスクを確認できないときは、一度電源を切り、ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

※新しいハードディスクの場合、「ディスクの管理」を選択したときに「ディスクの初期化と変換ウィザード」画面が表示されます。ディスクの初期化を行わないと使用できないので、変換ウィザードに従って初期化を行ってください。詳しくは Windows のマニュアルやヘルプを参考にしてください。

※バスパワー型のリムーバブルケースでは、電源が不足することがあります。アダプタが付属している場合はアダプタを接続するようにしてください。

※リムーバブルドライブとして認識されているハードディスクにはコピーできません。

④ HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite でコピー元、コピー先を指定

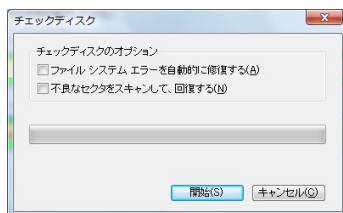
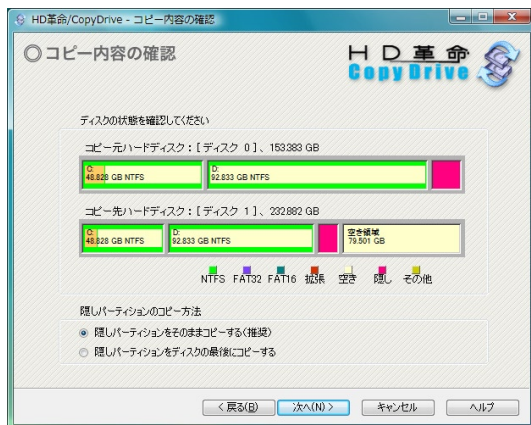
HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を起動し、メイン画面で、「コピー元ハードディスク」として「ハードディスク 0」を選択します。「コピー先ハードディスク」として「ハードディスク 1」を選択して「スタート」をクリックします。



⑤ コピー内容の確認

このノート型コンピュータには、リカバリーデータが保存された隠し領域が存在します。この例では「隠しパーティションをそのままコピーする（推奨）」を選択してコピーします（隠し領域のコピー方法については 3-5 ページ参照）。

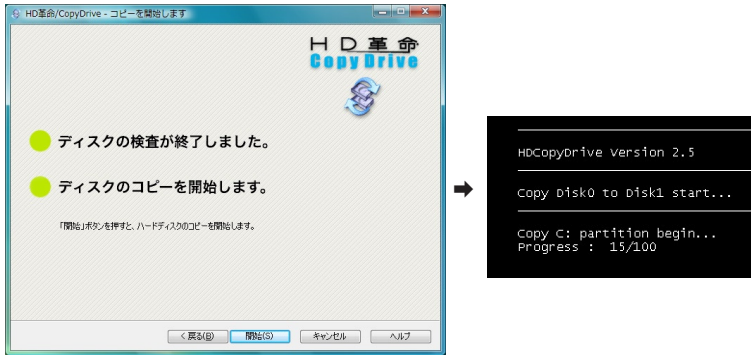
コピー元、コピー先の内容に間違いがないことを確認し、「次へ」をクリックします。このとき、チェックディスクの画面が開くので「開始」をクリックします。



※「隠しパーティションをディスクの最後にコピーする」を選択してコピーを行うと、コピー先ハードディスクでシステムリカバリーが実行できない場合があります。

⑥ コピー開始～コピー終了

チェックディスク終了後、下（左）の画面で「開始」をクリックするとコピーが始まります。コピー中は下(右)のような画面が表示されます。コンピュータ環境（CPU、ハードディスクの容量、速度など）によってはコピーに数時間～数十時間かかることがあります。



⑦ コンピュータの再起動

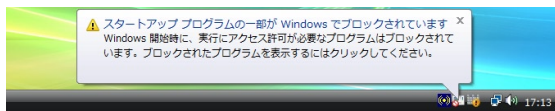
コピー終了後、次のメッセージが表示されます。

コピー先とコピー元の両方のハードディスクを接続したままで、何かキーを押してください。コンピュータが再起動します。

```
Copy operation finished !
Disk cache flushing..... 0
Disk copy finished!
Press any key to Reboot.
```

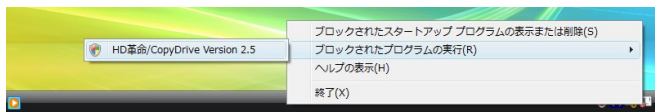
⑧ HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite を起動

Windows Vista が起動すると、タスクトレイに次のメッセージが表示されます。ここで、プログラムを実行する為にアイコンをクリックします。



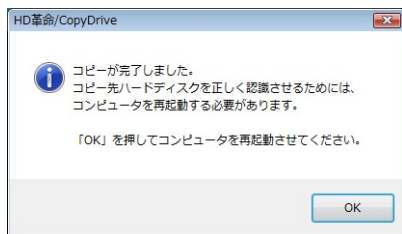
表示されたメニューで「ブロックされたプログラムの実行」→「HD 革命 /CopyDrive Version 2.5」と選択します。

この操作を行わないとコピー先のハードディスクが見えない状態のままとなります。必ずこの操作を行うようにしてください。



HD 革命 /CopyDrive 2.5 Lite が起動し、処理が完了すると次のメッセージが表示されます。

コピー先のハードディスクを正しく認識させるために「OK」をクリックしてください。コンピュータが再起動し、コピーが完了します。



⑨ リムーバブルケースからハードディスクの取り外し

Windows を終了してコンピュータの電源を切り、リムーバブルケースから新しいハードディスクを取り出します。

⑩ 内蔵ハードディスクを交換

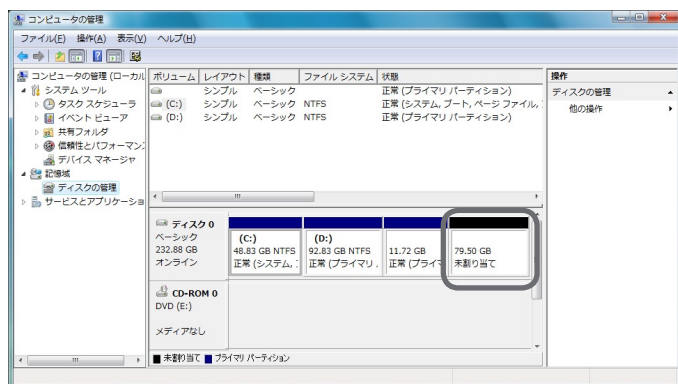
コンピュータから古い内蔵ハードディスクを取り出し、ケースから取り出した新しいハードディスクを取り付けます。

⑪ コンピュータを起動

コンピュータの電源を入れると、新しいハードディスクから Windows が起動します。

⑫ 必要に応じてパーティションを変更

新しいドライブが古いハードディスクより容量が大きいとき、「未割り当て」の領域ができます。③と同様に「ディスクの管理」を開くと、「未割り当て」の領域があることがわかります。



未割り当ての領域は「ディスクの管理」画面で領域を作成してからフォーマットすることで、利用可能となります。また、ハードディスクのドライブ文字も、「ディスクの管理」画面から変更することができます。



第5章 便利ツール

この章では、
HD 革命 / CopyDrive 2.5 Lite を
より有効に利用していただくための
便利ツールについて説明しています。

ドライブ情報の取得

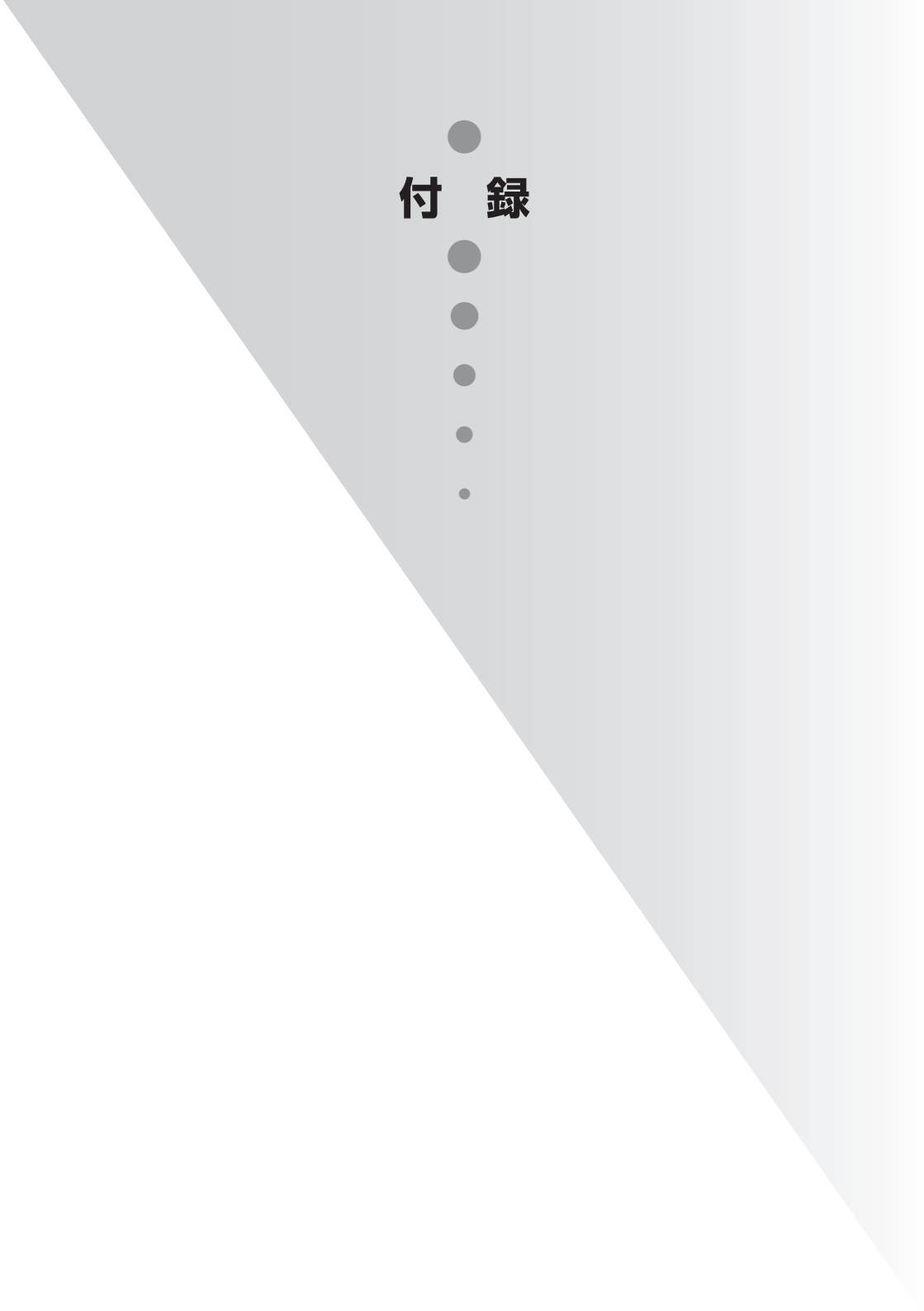
コンピュータに接続してあるハードディスクドライブの情報を取得できます。

1 ドライブ情報の取得画面

スタートメニューの「HD 革命 CopyDrive 2.5 Lite」の便利ツールから「ドライブ情報の取得」をクリックします。下のドライブ情報画面が開きます。



- ① **ディスク選択**
ドライブ情報を表示したいハードディスクを選択します。
- ② **ツールメニュー**
選択したハードディスクドライブの、Windows 起動にかかわる情報 (GUID、MBR) を操作できます。問題がない場合には使用しないでください。
- ③ **ファイルに出力**
すべてのハードディスクのドライブ情報をテキストファイルに出力できます。



付 録

用語の解説

ATAPI

IDE に CD/DVD など、ハードディスク以外の機器を接続するための規格。これにより、ハードディスクと同じように接続することが可能となっている。CD/DVD ドライブは、ATAPI 接続と呼ばれることが多い。

BIOS (Basic Input Output System)

バイオスと読み、コンピュータの電源を入れると一番最初に読み込まれるデバイスをコントロールするプログラム。OS は BIOS に命令を出しハードディスクなどのデバイスを制御する。

FAT (File Allocation Table)

MS-DOS、Windows で使用されるファイルシステム。ファイルの保存情報が記録されている。FAT16 は最大 2GB までしか扱うことができないが、FAT32 は 2TB (テラバイト) まで扱うことができる。

GPT ディスク

ディスクの管理方式の 1 つで、「GUID パーティションテーブル」の頭文字をとって「GPT」を呼ぶ。最大 18EB (エクサバイト) までボリュームを作成でき、1 台のディスクに最大 128 個のパーティションを作成できる。従来のディスクは MBR (マスターブートレコード) ディスクと呼ぶ。

GUID

ディスクやパーティションを区別するために用いられる一意な識別子のこと。

HPA (Hidden Protected Area)

PARTIES とも呼ばれる BIOS (ファームウェア) で保護された領域で、Windows のディスクの管理でもこの領域を参照する

ことができない。IBM 製のコンピュータはこの領域にリカバリー用のデータが保存されている。

IDE

ハードディスクや CD/DVD を接続するための規格の一つ。1 本の IDE ケーブルで、マスター、スレーブとして 2 台の機器を接続することができる。拡張規格として ATA がある。

IEEE1394

高速なデータ転送が可能なシリアルインターフェース規格。PC だけでなく、デジタル機器に広く普及している。「FireWire」や「i.LINK」とも呼ばれる。

MS-DOS (Microsoft Disk Operating System)

Microsoft 社が開発したディスクオペレーティングシステム。DOS と省略されることがある。

NTFS (New Technology File System)

Windows NT から導入されたファイルシステム。セキュリティや信頼性において、FAT よりも優れている。

OS (Operating System)

コンピュータを動かすための基本ソフトウェア。ハードウェアの管理を行ったり動作させるためのインターフェースを提供する。

PC/AT 互換機

IBM 社が開発した PC を元に、他社が開発した同等の PC のこと。AT 互換機、PC 互換機、DOS/V 機と呼ばれることもある。現在広く普及している PC のうち、

Macintosh 以外のほとんどは、PC/AT 互換機。

USB (Universal Serial Bus)

キーボード、マウス、ハードディスクなどのさまざまな周辺機器を接続することができるインターフェースで、コンピュータの電源を入れたまま、機器の接続、取り外しが可能。

USB1.1 と USB2.0 の規格がある。USB2.0 は USB1.1 との互換性をもち、最大転送速度が 480Mbps の高速な転送ができるようになった。また、最大 127 台の機器を接続することができる。

USB ルートハブ

USB コントローラチップ内部には一種のハブが存在し、USB の根本にあたるハブのため USB ルートハブと呼ばれる。デバイスマネージャで USB コントローラを見ると、いくつかの USB ルートハブが表示されていることが確認できる。

一般的に、コンピュータ本体にある USB コネクタ(USB ポートともいう)は通常ルートハブである。しかし、最近のコンピュータでは USB コネクタが複数あり、その中のいくつかのコネクタは、USB ルートハブから分岐したコネクタ(内蔵ハブによるコネクタ)の場合がある。キーボードやモニタにある USB コネクタも、内蔵ハブにより増設されたコネクタであることが多い。

空き領域

パーティション中の使用されていない(ファイル・フォルダが存在しない)部分のこと。

アクティブパーティション

OS を起動するように指定されているパーティション。

拡張子

ファイルの種類を区別するために、ファイル名の後に「.」を挟んでつけられる文字列のこと(例: .ISO .TXT)。

拡張領域と論理ドライブ

ハードディスクを分割したときの、基本ドライブ以外の領域を拡張領域という。この拡張区画の中に 1 個または複数の論理ドライブがつけられ、論理ドライブの 1 つ 1 つに D、E、F…とドライブ文字が割り当てられて使われることになる。

拡張領域のことを拡張パーティションと呼ぶこともある。

仮想ドライブ

実際には接続されていないが、Windows 上で本物のドライブと同じように認識されるドライブのこと。

起動コード(ブートコード)

コンピュータやシステムを起動するために最初に読み込まれるプログラムのこと。

基本ドライブ

通常は 1 つのハードディスクに 1 つだけつけられるコンピュータ起動用ドライブのことをいい、特殊な場合を除き C ドライブを指す。このドライブに Windows がインストールされる。

基本パーティション、またはプライマリパーティションと呼ぶことがある。

クラスタ

ハードディスクへのデータの記録はセクタ単位で行われるが、Windows では複数のセクタからなるクラスタという単位でデータが管理され、データの読み書きがクラスタ単位で行われる。

コンベンショナルメモリ

MS-DOS およびアプリケーションが使用可能な 640KB のメモリ。

シリアル ATA (SATA、SerialATA)

シリアルで転送するインターフェース規格。従来の ATA 規格はパラレル転送を行っており、ケーブルの形状が異なる。ATA より高速な転送を可能としている。

ジオメトリ

ハードディスクに関する情報(トラック数、セクタ数、ヘッド数など)のこと。

使用領域

パーティションの中の、使用されている(ファイル・フォルダが存在する)部分のこと。

ダイナミックディスク

Windows Vista/XP/2000 でのみ利用可能なディスク管理方法。ダイナミックディスクでは、「ボリューム」と呼ばれる単位でディスクの領域を管理する。ボリュームには、シンプル、スパン、ストライプ、ミラー、RAID-5 が存在するが、ミラーと RAID-5 はサーバー系 Windows のみサポートしている。

ディレクトリ

階層構造のファイル管理方式では、1 つの階層をディレクトリと呼ぶ。

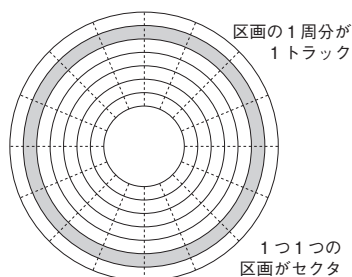
デバイス

コンピュータに接続する周辺機器のこと。

トラックとセクタ

ハードディスクの中では、回転する磁気を帯びた円盤に対してデータの書き込み・読み出しが行われている。データが記録される区画の最小単位をセクタといい、セクタ

の 1 周分をトラックという。



パーティション

ハードディスクをいくつかの領域に分割したときの区域のこと。物理的に 1 つのディスクを複数のディスクのように見せることができる。

パーティションテーブル

ハードディスクに存在する各パーティションに関する開始位置やサイズの情報を記録しておくテーブル。

ファイルシステム

ファイルを管理する方式。ハードディスク上のどこにファイルが保存されているかなどの情報を記録する。ファイルの参照は、ファイルシステムの情報をもとに行われている。

フォーマット

ハードディスクや DVD-RAM、MO などの記録メディアにデータを書き込むために一番最初に行う処理。ファイルシステムごとに決められた規則に従って行われる。

フラッシュメモリ

書き換え可能なメモリのこと。電源を切ってもデータを保持することができる。小型でデジタルカメラなどに利用されている。

ベーシックディスク

基本パーティション、拡張パーティション、論理ドライブで構成される従来のディスク管理方法を「ベーシックディスク」と呼ぶ。

ヘッド

データの読み込み・書き込みを行うために使われるディスクの中にある磁気ヘッドのこと。ハードディスクでは、複数のヘッドが存在する。

ヘッド数

ハードディスクのサイズや位置情報を計算する方法としてヘッド数という値を使用する。ヘッド数は、ほとんどのコンピュータでは 255 としているが、IBM などの一部のコンピュータでは 240 となっている。

ボリューム

ディスクの記憶単位で、ドライブ文字が割り当てられる。ダイナミックディスクでは、パーティションを「ボリューム」と呼ぶ。

ボリュームラベル

マイコンピュータ画面でドライブアイコン

に表示される、ディスクを識別するための名前。

マスターブートレコード

HDD の先頭領域にあるセクタのことで、MBR と略されることがある。パーティションテーブルやアクティブパーティションから起動用プログラムを読み込むためのマスターブートコードが記録されている。

マルチブート

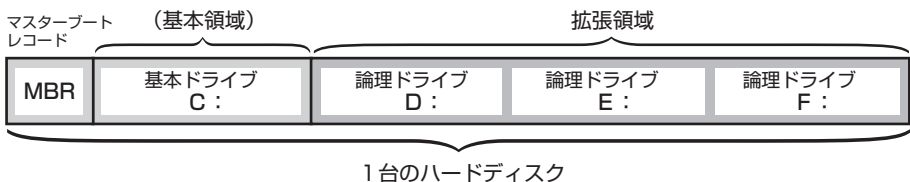
ハードディスクに複数のオペレーティングシステム（OS）をインストールして、切り替えて起動できるようにすること。

未割り当て領域

ハードディスクの中でパーティションが割り当てられていない部分のこと。空き領域ともいう。

レジストリ

ハードウェアやアプリケーションの設定情報を管理するファイル。このファイルが破損すると OS が起動しなくなることもある。



株式会社アーク情報システム お客様情報保護方針

株式会社アーク情報システム（以下、弊社という）は個人情報保護に細心の注意を払っております。

お客様にご登録いただいた個人情報（以下、お客様情報という）に対し、弊社情報セキュリティ方針に従い、適切な保護を行います。

以下にお客様情報の保護方針を記載いたします。

1. お客様情報および使用目的について

弊社製品購入時のユーザー登録、セミナー参加申込み、お問合せフォーム等でお名前、ご住所、電話番号、電子メールアドレス、パスワード、弊社製品シリアル No. 等のお客様情報をお預かりする場合があります。

お預かりしたお客様情報は下記の場合に使用いたします。

- ・ご購入いただいた弊社製品のサポートをご利用いただく場合
- ・弊社から製品等をご購入いただく場合
- ・弊社が企画・参加するセミナー・イベントのご案内をする場合
- ・各種お申込みのお礼、またお申込みをいただいた資料等を送付する場合
- ・弊社製品のアップデート、およびそれらの情報をご提供する場合
- ・弊社新製品の情報、およびサービス等をご案内する場合

2. お客様情報の提供および開示について

原則として、お客様情報を第三者へ提供・開示することはありません。ただし、以下の利用目的でお客様情報を提供させていただく場合があります。

- ・外部業者への業務委託をする場合

お客様へ製品・サービス・弊社情報等を発送や提供するため、アンケート等を実施するため等で、外部業者等へ業務を委託する場合があります。この場合には、弊社の厳正な管理の下で業務を行うことを目的に、必要最小限のお客様情報を提供する場合があります。

- ・法令等に基づき、お客様情報の開示が必要な場合

法令や条例等で認められた権限を持つ機関からの要請があった場合には、お客様の許可なくお客様情報を提供・開示する場合があります。

- ・クレジットカード会社、その他金融機関とのお客様情報の共有

クレジットカードによるオンライン決済やその他の決済のためにお客様のお名前等をクレジットカード会社、その他金融機関に照会させていただく場合があります。

3. お客様情報の管理について

お客様情報を厳正に保護し、不正使用、漏えい、棄損、改ざん、不正アクセス等の無いように努めます。

お客様情報の閲覧、変更等は、弊社 Web サイトにてお客様ご自身で行うことが出来る場合があります。お客様情報の取り扱いに関するお問合せ、および変更等がお客様ご自身で行うことの出来ない場合には各製品のお客様相談窓口までご連絡をお願いいたします。お客様ご自身を弊社にてご確認させていただけた場合に限り、合理的範囲内で速やかにご対応させていただきます。

4. セキュリティについて

個人情報保護規定を策定し、適切な運用管理に努めております。お預かりしたお客様情報は、ファイヤーウォール等で保護されたサーバーにて保管し、不正アクセス等による漏えい、改ざんの起こらないように努めます。

弊社 Web サイトにて、お客様情報をお預かりする際やお客様ご自身でお客様情報の閲覧、変更等を行う場合には、SSL(Secure Socket Layer) プロトコルを使用して安全性を高めております。

お客様がご自身の個人情報を管理するために設定された電子メールアドレス、パスワード等に関しては、お客様ご自身で厳重な管理をお願いいたします。

5. Cookie（クッキー）使用について

弊社 Web サイトでは、Cookie と呼ばれる技術を使用したページがあります。この Cookie 技術の使用により、より利用しやすい Web サイトのご提供を行っております。

ただし、この Cookie により、お客様情報を識別するものではありません。また、Cookie 機能をお客様により無効とされた場合には弊社 Web サイトの全部、または一部がご使用いただけない場合があります。

6. 個人情報保護方針に関する改訂について

弊社では、より良くお客様の個人情報の保護を図るために、また法令その他の規範の変更に伴い、お客様情報保護方針の全部または一部を改訂することがありますので、定期的にご確認されることをお勧めいたします。

7. お客様情報に関するお問合せについて

お客様情報保護方針、およびお客様情報に関するお問合せ窓口は下記で承っております。

株式会社アーク情報システム 企画販売部 お客様情報保護方針相談窓口

・ E-Mail お客様情報保護方針担当 privacy@ark-info-sys.co.jp

・ ホームページ <http://www1.ark-info-sys.co.jp/>

本マニュアルおよび追加情報について

●本マニュアルの PDF ファイルについて

本マニュアルは PDF ファイルとして収録しており、「Adobe Reader」（Adobe 社の PDF ファイル閲覧ソフトウェア）を使ってオンラインマニュアルとしてご利用いただくことが可能です。

〔ご利用方法〕

(1) Adobe Reader のインストール

Adobe Reader がお使いのコンピュータにインストールされていない場合、起動した統合インストーラのメニューから「→ Adobe Reader」をクリックしてインストールすることができます。

(2) PDF ファイルの収録先

本マニュアルの PDF ファイルは、インストールフォルダ内の「MANUAL」フォルダに「HDCopyDrive25VL.PDF」として収録してあります。

ユーザーサポートをご利用の方へ

本製品の操作方法がわからないときやトラブルが発生したときは、以下のように対処していただきますようお願いいたします。

① 操作方法・トラブル内容について調べる

インターネット接続が可能な場合は、FAQ（よくあるお問い合わせ）をご覧ください。操作上の注意点、トラブル内容と対処方法などが記載されています。FAQ をご覧になるには下記の URL にアクセスしてください。

<http://www1.ark-info-sys.co.jp/support/index.html>

② ダウンロードする

最新アップデートを適用することにより、改善場合があります。最新アップデートをダウンロードするには、下記の URL にアクセスしてください。

<http://www1.ark-info-sys.co.jp/download/index.html>

③ サポートへ問い合わせる

お問い合わせいただく際には、ユーザー登録が必要になります。お使いの製品、OS、環境、エラーメッセージについて詳しくお知らせください。

■メールで問い合わせる

ユーザーサポート係
kakumei@ark-info-sys.co.jp

■FAX で問い合わせる

「ユーザーサポート申込書」をコピーしてご記入ください。
FAX 03-3234-9252

※メール・FAX の場合、お問い合わせの内容により 3～5 日営業日ほどお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

■電話で問い合わせる

TEL 03-3234-9251
(祝祭日・弊社休業日を除く月～金曜日の 10 時～ 12 時、13 時～ 17 時)

※曜日や時間帯によってはお問い合わせが集中し、お電話がつながりにくくなる場合がございます。その際は、恐れ入りますが時間をずらしてお電話をいただきますようお願いいたします。

ユーザーサポート内容について

■サポートへお問い合わせいただく際の必要事項

サポートへお問い合わせいただく際は、以下の項目についてお知らせください。

- ① ユーザー ID
- ② ご使用の弊社製品名、バージョン
- ③ ご使用の OS (Windows XP など)
- ④ エラーメッセージ全文

障害の状況により、さらに詳しい情報が必要な場合があります。エラーが発生するまでの手順を、箇条書きでお知らせください。

(例)

- 1. コピー先ハードディスクをクリック
- 2. アプリケーションエラーが発生
エラーメッセージ「*****」(正確に転記してください)

■初期不良交換（無償）

製品ご購入時に CD-ROM の不良やユーザーズ・マニュアルの乱丁・落丁がありましたら無償にて交換いたします。

■交換（有償）

CD-ROM の破損時には有償にて修復・交換いたします。

ただし、ユーザー登録が必要となります。

■その他

弊社で動作保証している環境以外（自作パソコン、ショップメイドパソコン、CPU オーバークロック、そのほかハードウェアの改造など）で不具合が発生するケースにおいては、パーツの相性や、デバイスドライバがその一因となっていることがあります。

その場合、すべてのパーツの組み合わせの相性テストは不可能であり、弊社ユーザーサポート環境にて再現性のない場合や、相性により発生していると思われる問題につきましては、対応が不可能な場合もあります。ご了承ください。

他社製品、シェアウェアなどのパーティション操作ソフトウェア（マルチブートユーティリティなど）との共存は原則としてサポート外とさせていただきます。

この用紙をコピーして各項目にご記入の上、下記までFAXにてお送りください。

必ずユーザー登録終了後に、ユーザーサポートをお申し込みください。

FAX 03-3234-9252

株式会社アーク情報システム 企画販売部 ユーザーサポート係 行

「HD 革命 / CopyDrive Ver.2.5 Lite for Vista」 ユーザーサポート申込書

(お使いの環境を、わかる範囲でご記入ください)

●弊社からお客様への連絡方法 (電話、FAX、E-Mail から指定してください。
(ただし、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。))

1. 電話 (10:00~12:00、13:00~17:00内となります) 2. FAX 3. E-Mail

●お客様のお名前・ご連絡先・対象の製品 (※は必ずお書きください)

※ お名前 :

※ TEL : ※ FAX :

E-Mail アドレス : @

※ シリアルナンバー :

ユーザーID :

HD革命 / CopyDrive 2.5 Liteアップデートの有無 : 有・無 (Ver.)

●お使いのコンピュータについて

メーカー名 :

機種名とシリアルナンバー :

メモリ容量 (RAM) :

Windowsの種類 : Windows 2000 (SP), XP Home / Pro (SP)

Windows Vista Basic / Premium / Business / Ultimate (SP)

接続されている周辺機器 :

ボード、カードご利用の場合

・I/F : SCSI, eSATA, RAID, USB2.0, IEEE1394, その他 (.....)

・メーカー、型番、チップセット :

●お使いのソフトウェアについて

インストールされているアプリケーションプログラム・常駐プログラム :

.....

.....

●ハードディスクの構成について

ハードディスクごとに、インターフェース、型番、容量、ドライブ文字、ファイルシステムの種類、インストール OS などを選択または記入してください（書ききれない場合には別紙にお書きください）。

○コピー元ハードディスク（型番：_____）

	全容量 () GB 使用容量 () GB	全容量 () GB 使用容量 () GB	全容量 () GB 使用容量 () GB
ATA	ドライブ文字 ()	ドライブ文字 ()	ドライブ文字 ()
SATA			
USB	ボリュームラベル ()	ボリュームラベル ()	ボリュームラベル ()
IEEE1394	FAT16/FAT32/NTFS/未割当て	FAT16/FAT32/NTFS/未割当て	FAT16/FAT32/NTFS/未割当て
eSATA			
SCSI	OS ()	OS ()	OS ()

○コピー先ハードディスク（型番：_____）

	全容量 () GB 使用容量 () GB	全容量 () GB 使用容量 () GB	全容量 () GB 使用容量 () GB
ATA	ドライブ文字 ()	ドライブ文字 ()	ドライブ文字 ()
SATA	ドライブ文字 ()	ドライブ文字 ()	ドライブ文字 ()
USB	ボリュームラベル ()	ボリュームラベル ()	ボリュームラベル ()
IEEE1394	FAT16/FAT32/NTFS/未割当て	FAT16/FAT32/NTFS/未割当て	FAT16/FAT32/NTFS/未割当て
eSATA	OS ()	OS ()	OS ()
SCSI	OS ()	OS ()	OS ()

●ハードディスク以外のドライブについて

ハードディスク以外の接続機器を記入してください。

ドライブ 文字	I/F規格	ドライブの種類	メーカーと型番
()	ATAPI、SATA、 IEEE1394、 USB、SCSI その他 ()	CD/DVD/DVD-RAM・MO カードリーダー その他 ()	
()	ATAPI、SATA、 IEEE1394、 USB、SCSI その他 ()	CD/DVD/DVD-RAM・MO カードリーダー その他 ()	
()	ATAPI、SATA、 IEEE1394、 USB、SCSI その他 ()	CD/DVD/DVD-RAM・MO カードリーダー その他 ()	

CD革命/Virtualなどの仮想CD-ROMドライブは、とくに必要がない限り記入しなくてもけっこうです。

●障害が生じた操作 (□にチェックを入れ、内容を記入してください)

☐ インストール時

障害が生じたタイミング： ☐ インストール途中 ☐ その他

エラーメッセージ：

現象を具体的に：

.....

.....

☐ ハードディスクのコピー時

障害が生じたタイミング： ☐ 起動時 ☐ ディスクの選択時

☐ チェックディスク時

☐ コピー開始時 ☐ コピー中

コピー元：..... 容量：.....GB 使用領域：.....GB

コピー先：..... 容量：.....GB 使用領域：.....GB

エラーメッセージ：

.....

現象を具体的に：

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

その他、特記事項など

This image shows a full page of a handwriting practice worksheet. It consists of multiple sets of three horizontal dashed lines spaced evenly down the page, providing a guide for letter height and placement. The background is plain white, and there are no other markings or text present.

- ・ Microsoft®, Windows®Vista, Windows®2000, Windows®XP は米国 Microsoft Corporation の、米国および他の国における登録商標または商標です。
- ・ その他の会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

HD 革命 /CopyDrive Ver.2.5 Lite for Vista ユーザーズ・マニュアル

2007 年 6 月 1 日 第 1 版発行

発 行 © 2007 株式会社アーク情報システム

〒 102-0076 東京都千代田区五番町 4- 2 東プレビル

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

著作権法の範囲を超え、本書を無断で複写、複製、転載することを禁じます。